

1. 駆動バッテリー

注意

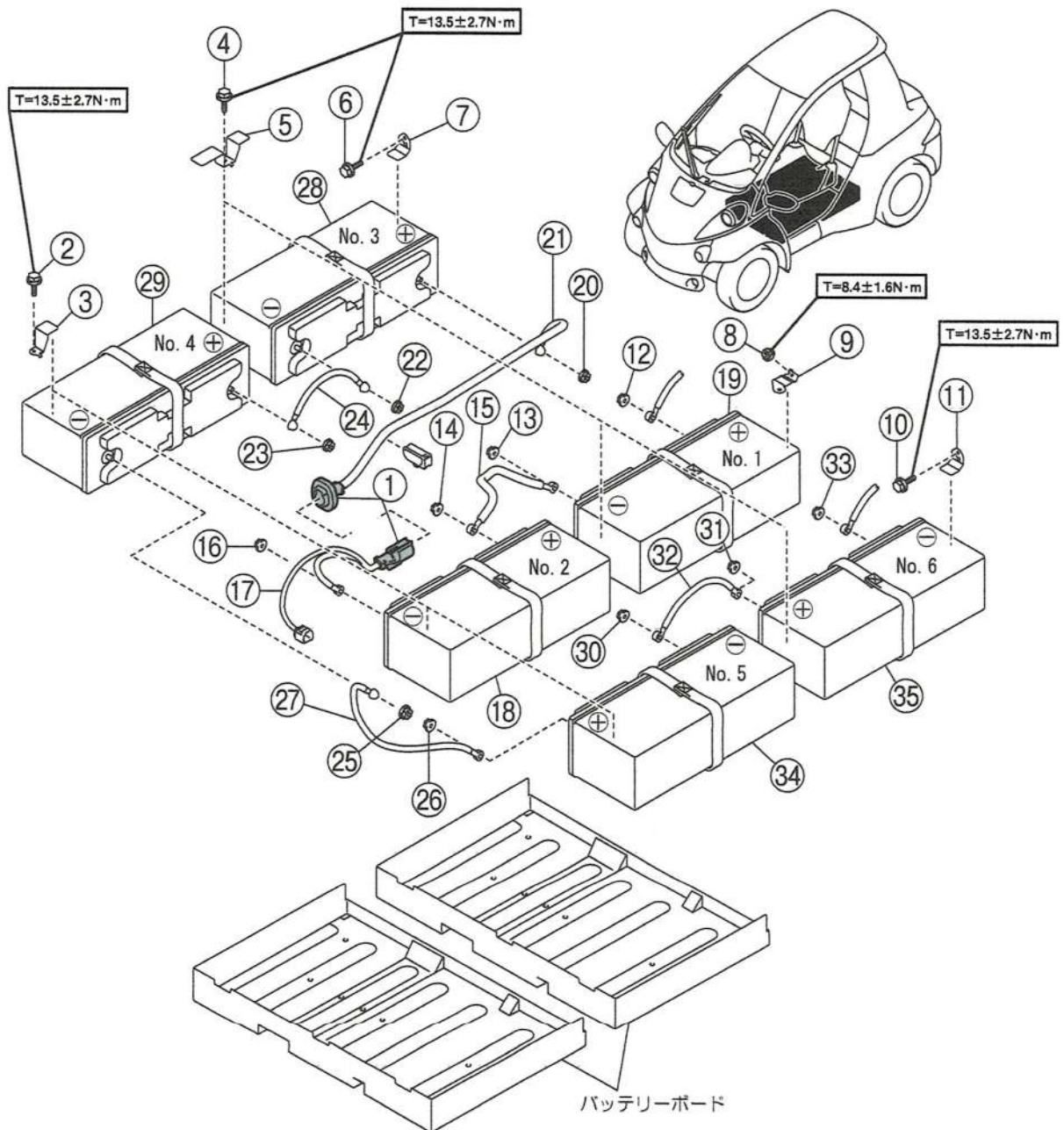
- バッテリーは感電やリークをしないように絶縁手袋、絶縁工具等を使用し、十分注意をして取り扱うこと。
- 駆動バッテリー脱着時は、必ず72Vラインコネクタを切り離すこと。(下図①)
- バッテリーの取り外しはNO.1 から順に行い、ターミナルはマイナス側(黒キャップ)から切り離すこと。
- バッテリーに装着されているキャリーベルトは、バッテリーの向きを変えるためのものです。バッテリーの運搬時は台車等を使用すること。
ベルトを持って運搬すると、切れたり外れたりしてバッテリーが落下し、バッテリーの破損や変形、または足に落としてケガをすることがあります。

○準備品

トルクレンチ

○部品構成図

バッテリーターミナル締付トルク $T=12.3\pm 2.4N\cdot m$
 ⑫ ⑬ ⑭ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜



バッテリーボード

○構成部品表

①	72V ラインコネクタ	⑲	BATTERY ASSY, ELECTRIC VEHICLE
②	BOLT, FLANGE	⑳	NUT, FLANGE
③	CLAMP, BATTERY	㉑	CABLE, MAIN BATTERY
④	BOLT, FLANGE	㉒	NUT, FLANGE
⑤	CLAMP, BATTERY	㉓	NUT, FLANGE
⑥	BOLT, FLANGE	㉔	CABLE, MAIN BATTERY
⑦	CLAMP, BATTERY	㉕	NUT, FLANGE
⑧	NUT	㉖	NUT, FLANGE
⑨	CLAMP, BATTERY	㉗	CABLE, MAIN BATTERY
⑩	BOLT, FLANGE	㉘	BATTERY ASSY, ELECTRIC VEHICLE
⑪	CLAMP, BATTERY	㉙	BATTERY ASSY, ELECTRIC VEHICLE
⑫	NUT, FLANGE	㉚	NUT, FLANGE
⑬	NUT, FLANGE	㉛	NUT, FLANGE
⑭	NUT, FLANGE	㉜	CABLE, MAIN BATTERY
⑮	CABLE, MAIN BATTERY	㉝	NUT, FLANGE
⑯	NUT, FLANGE	㉞	BATTERY ASSY, ELECTRIC VEHICLE
⑰	CABLE, MAIN BATTERY	㉟	BATTERY ASSY, ELECTRIC VEHICLE
⑱	BATTERY ASSY, ELECTRIC VEHICLE		

○取り外し前の作業

- 1) キャンバスドア（オプション品装着車のみ）を取り外す。（分解図 P.2-1 参照）
- 2) フロア（フロント）（リヤ）・シートを取り外す。（分解図 P.2-11 参照）

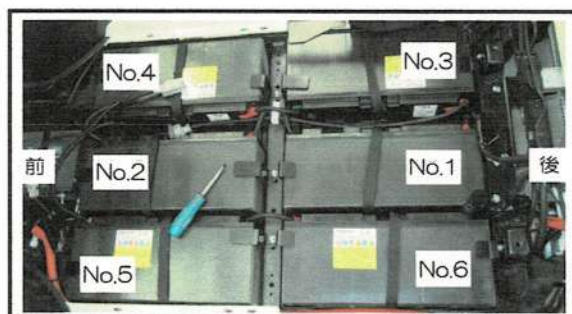
○取り外し手順

部品構成図の取り外し番号順に従い、取り外す。

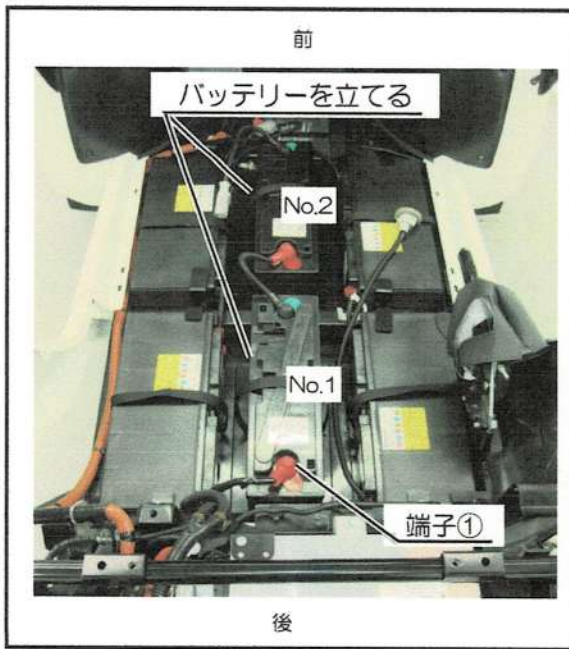
○取り外し時の要点



- 1) 72V ラインコネクタを切り離す。



- 2) バッテリーの位置、順番を間違えない為に番号（No.1, 2, 3...）等を付け、番号順に取り外すこと。



- 3) No.1 及び No.2 バッテリーを立てて、No.1 及び No.2 の端子を外す。
以降 No.3、4、5、6、についても同様に作業する。

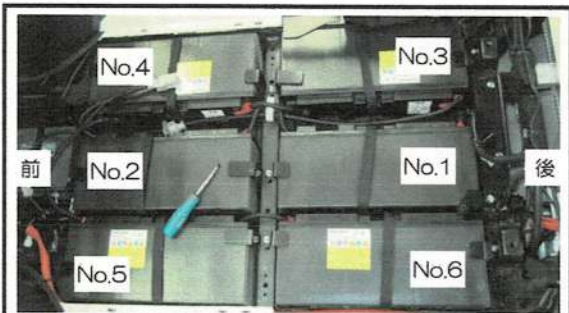


- 4) バッテリーからキャリアベルトを取り外す。

○取り付け手順

取り外しと逆の手順で取り付ける。

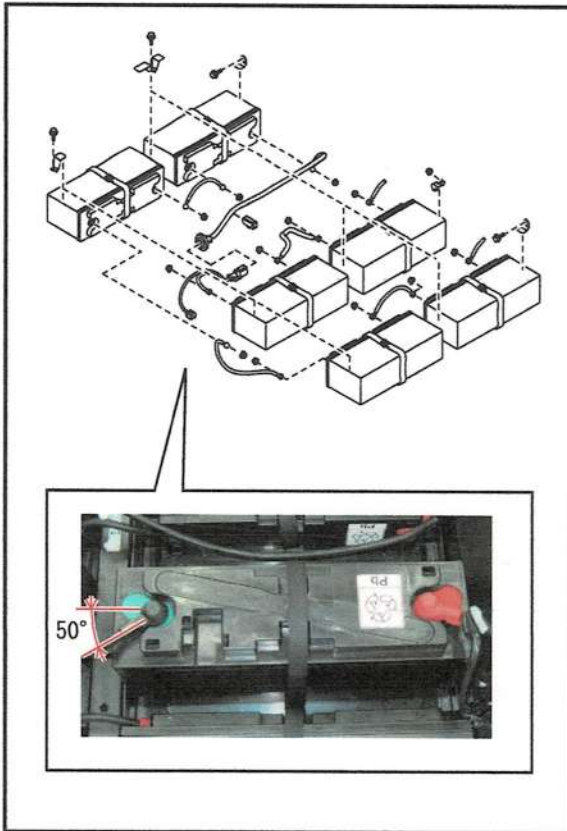
○取り付け時の要点



- 1) 新品キャリアベルト又は古いバッテリーから取り外したキャリアベルトを新品バッテリーに取り付ける。
- 2) バッテリーの位置、順番を間違えないこと。

注意

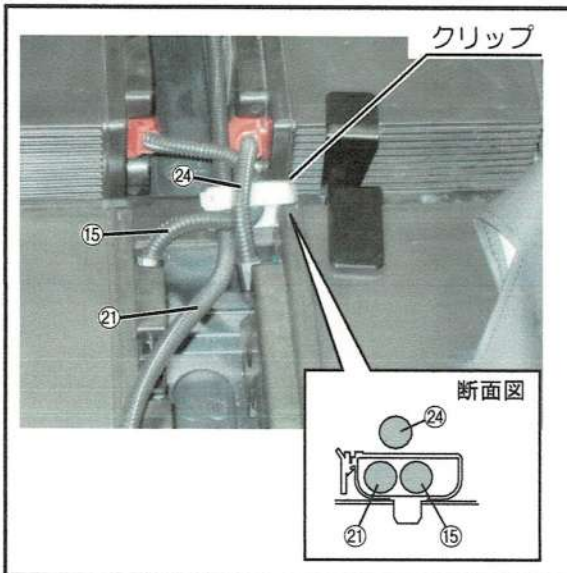
バッテリー下にあるバッテリーボードには、プラス、マイナスの表示があります。バッテリーを取り付ける際に確認すること。



- 3) ハーネスやコネクタがバッテリーの下敷きにならないこと。
- 4) ターミナル端子にケーブルを締め付ける時は、角度(50°)や取り廻しに注意する。

注意

- 72Vラインコネクタは、バッテリー取り付け後、最後に接続する。
- ブラケットは取り付け向きに注意する。
- 接触不良による発火などの恐れがある為、端子台および丸形端子の接触面に汚れやゴミがある場合は確実に除去すること。
- 締め付け不足による発火、締め付け過剰による端子ボルト折損の恐れがある為、締め付けトルクを厳守すること。



- 5) コードをクリップで固定する。

○取り付け後の作業

- 1) フロア(フロント)(リヤ)・シートを取り付ける。
- 2) キャンバスドアを取り付ける。

注意

駆動バッテリー交換後は、必ず交換後の車両で充電表示灯が緑色点滅または緑色点灯するまで充電してください。メーターECU内部の残量データと実際のバッテリー状態に違いが生じ、バッテリー残量計が正しく表示できなくなります。

2. 補機バッテリー

注意

- バッテリーは感電やリークをしないように絶縁手袋、絶縁工具等を使用し、十分注意をして取り扱うこと。
- バッテリーの運搬は台車等を使用し、落下させないこと。落下することにより、内部の破損や変形、または足に落ちてケガをすることがある。

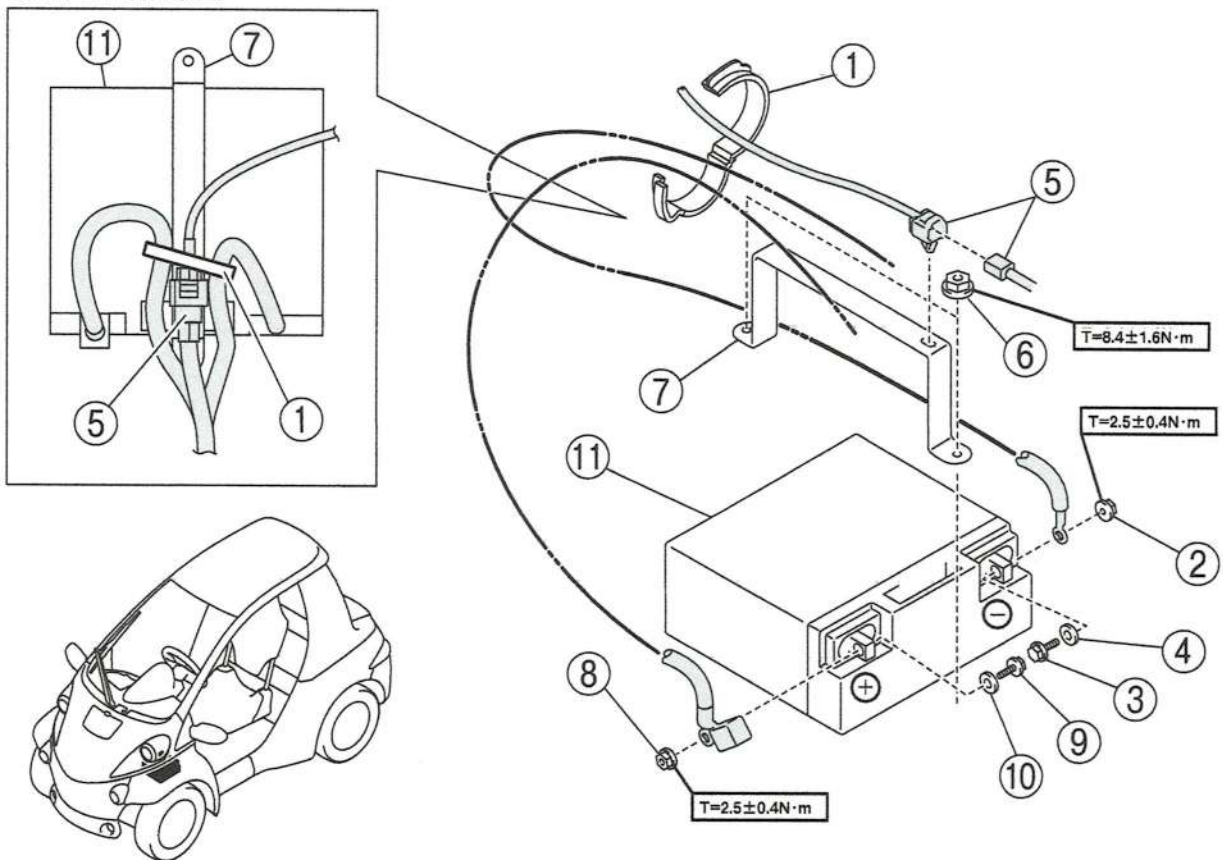
○取り外し時の要点

補機バッテリーのマイナス側端子を切り離してから取り外す。

○準備品

トルクレンチ

○部品構成図



○構成部品表

①	CLAMP	⑦	CLAMP, BATTERY
②	NUT	⑧	NUT
③	BOLT, HEXAGON	⑨	BOLT, HEXAGON
④	WASHER	⑩	WASHER
⑤	CONNECTOR	⑪	BATTERY ASSY, ELECTRIC VEHICLE
⑥	NUT		

○取り外し前の作業

- 1) キャンバスドア（オプション品装着車のみ）を取り外す。（分解図 P.2-1 参照）
- 2) フロア（フロント）を取り外す。（分解図 P.2-11 参照）

○取り外し手順

部品構成図の取り外し番号順に従い、取り外す。

○取り付け手順

取り外しと逆の手順で取り付ける。

○取り付け時の要点

- 1) ハーネスやコネクタをバッテリーで挟まないこと。
- 2) ハーネスのバッテリー端子を曲げたりしないこと。

注意

- 接触不良による発火などの恐れがある為、端子台および丸形端子の接触面に汚れやゴミがある場合は確実に除去すること。
- 締め付け不足による発火、締め付け過剰による端子ボルト折損の恐れがある為、締め付けトルクを厳守すること。
- 補機バッテリーターミナルの電線取扱い時は、端子の根元で折らないように注意して作業すること。

○取り付け後の作業

- 1) フロア（フロント）を取り付ける。
- 2) キャンバスタアを取り付ける。